

令和2年度 (一社) 島根県建築士事務所協会主催
第10回「学生設計コンクール」
最優秀賞・優秀賞を受賞しました！



令和3年2月17日(水)に本校で、(一社)島根県建築士事務所協会主催 第10回「学生設計コンクール」の受賞式が行われました。「私の住みたい家」のテーマで県内工業高校より応募された10作品の中から、建築・電気科3年 山根唯音さん(江東中出身)が**最優秀賞を受賞**しました。また、建築・電気科3年 吉田航太郎さん(金城中出身)が**優秀賞を受賞**しました。おめでとうございます。

【最優秀賞】講評

House standing on the hill 丘の上の家
～地域の人たちの小さな映画館～

住宅は個人の財産ですから、基本的には所有者の思い通りに作る物です。しかし、外観や外部空間など地域と接する部分は、完全なプライベートとは言えません。地域の景観やコミュニティーとのつながりを意識する必要があります。そういう意味で、この作品はよく考えられていると思います。

江津本町という特定の地域を想定し、素材や形態が考えられています。それだけでなく、地域のミニシアターとして位置づけ、住民の集いの場として「ひだまりホール」など中間領域を拡大している点も良いと思います。ただ、住宅としてのプランニングは、南面中央を「ひだまりホール」に取られたため、内部動線が長くならざるを得なくなっています。この点が少し残念ですが、もう少し練り上げれば改善案もでてくるかと思います。今後の精進を望みます。

【優秀賞】講評

江津本町大屋根の家
～大屋根の家、地元住民のつぶやきが聞こえる通り～

20年後の「私」が地元である江津市内に家を構える計画である。

その土地の持つ歴史的背景や地域との関わりを配慮した住宅は、「大屋根の下、地域住民のつぶやきが聞こえる通り」をコンセプトに計画されており、建物をとおして地域の人との関わり方や、生活をより豊にする具体的な提案が評価された。

環境への配慮についても検討されており、SDGs認定住宅をも視野に入れた計画についても興味深い提案となっていた。

【最優秀賞】 House standing on the hill 丘の上の家

～地域の人たちの小さな映画館～

建築・電気科3年 山根唯音さん

House standing on the hill

丘の上の家

～地域の人たちの小さな映画館～

2040年、新型コロナウイルスは収束し、地域に活気が戻ってきた。コロナ以降、みんなで集まる楽しさを改めて知った。そこで私は考えた。江津市には映画館がない!! 普段は出費や広島に見に行っている。私は大きなスクリーンで自由に映画を見ることができ、また、地域の人たちにもこの映画館を楽しんでもらい、映画を通して地域の人たちが重く会って人の温もりを感じながら、会話をしたり映画を見たりして江津本町を活性化させる町にしたい。圧迫感を感じさせないために、階の圧を設け、2階建てのボリュームを消した。さらに通風を良くし、光をたくさん取り込めるように窓をたくさん設けた。廊下を介して各部屋に入られるように設計し、玄関部分にスロープや手すりを設け、バリアフリーに配慮した。

家族構成
父 建築 建築家、料理
母 建築 建築家、旅行
子供(男) 建築 建築家、料理、お菓子作り
子供(女) 建築 バイオリン、ダンス
その他 祖母 祖母、おばあちゃん

島根県立江津工業高等学校 山根 唯音

【優秀賞】 江津本町大屋根の家

～大屋根の家、地元住民のつばやきが聞こえる通り～

建築・電気科3年 吉田航太郎さん

江津本町大屋根の家

大屋根の下、地域住民のつばやきが聞こえる通り

2040年私は40歳になり家を建てることになった。住まいは江津市の江津本町に家を建てたいことにした。住時の影響をたずまいと、かつては、北前船の寄港地として家々江戸時代に築かれた商家の家屋が多く残り、残した歴史ある街を想いながら、この地を選んだ。思いがけず平屋は多く、番附に変換されることもあり、この家は番附の裏側に面する家が、建てられた。土地は1.5mの地盤を上げ平屋列家をとった。屋根には大屋根をやり、自然を併せ出すようにし、そして土をのせ植物が育てるようにし断熱できるようにした。この方法でも各部屋は涼しく、空調設備が少なくて済む地球環境に優しい家となった。2020年ごろ「SDGs」認定住宅となり、11、12と5つの目標マークをつけ、税金も安くした。

この家は地域の人々のちよっとした笑顔スペースを盛りだくさんにつくった。大屋根が道路までつきたし、ひさしから通りすがりの人たちのたまり場となった。また静りのときは出雲の風となり、私の家の大屋根は地域のシンボルとなりつつある。

大屋根が影を落とし、緑を包み込む
まちを眺め、石畳の佇まいが一層できる
空や雲が自然の動きをまじり、気持ちよく感じる
エアコンを動かさなくても涼しい
通りすがりの人達の心癒すスペース

島根県立江津工業高等学校 吉田 航太郎